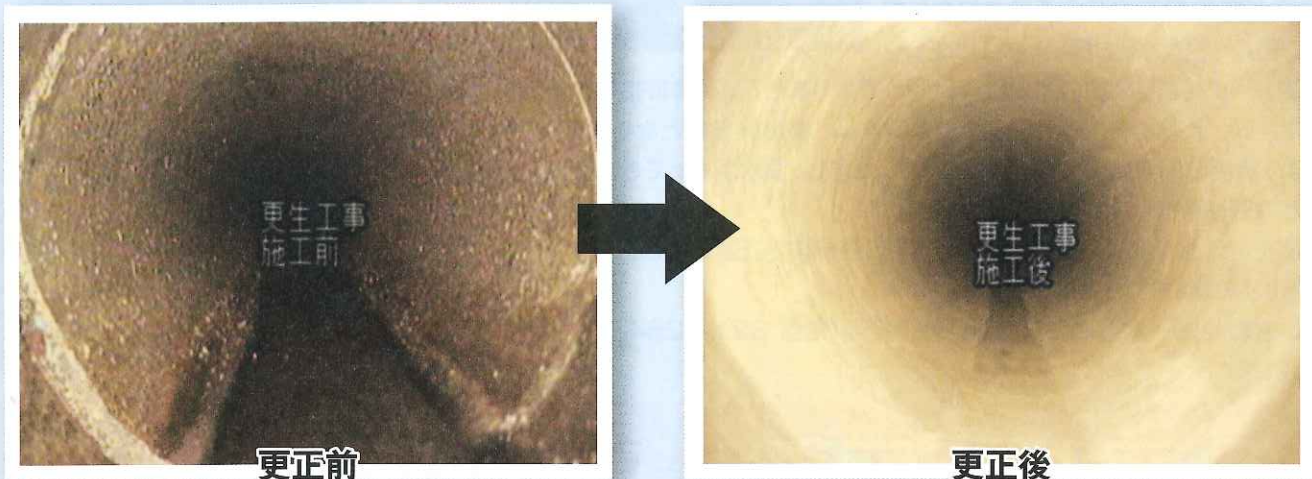


下水道長寿命化計画

高崎市では古くから下水道の整備を進めてきたことによる、管路施設等の老朽化対策として「下水道長寿命化計画」を策定しました。老朽化に起因する事故や市民生活への影響を防止、ライフサイクルコスト縮小や耐震化、更に機能性の向上を考慮した管路施設の改築（布設替え、管更生）を計画的に進めています。

更生工法による管路の長寿命化対策工事 施工例

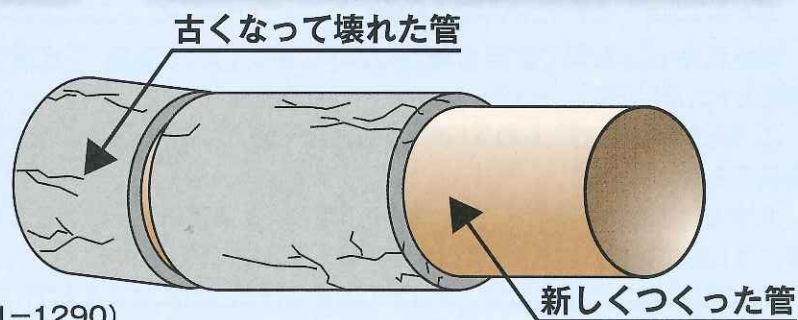


下水管路の更生工法とは

古くなってひびが入ってしまった管や、接続したところがはずれてしまった管を道路を掘らずに直す工法です。

わかりやすくいえば、古くなった管の中に新しいパイプをつくってしまう工法です。

●問い合わせ先…下水道局維持管理課(電話321-1290)



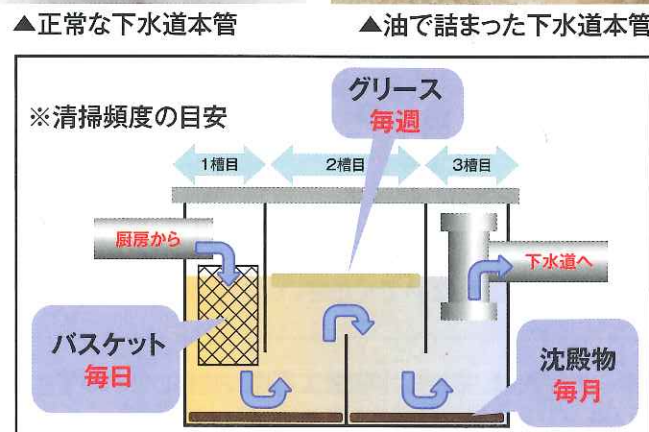
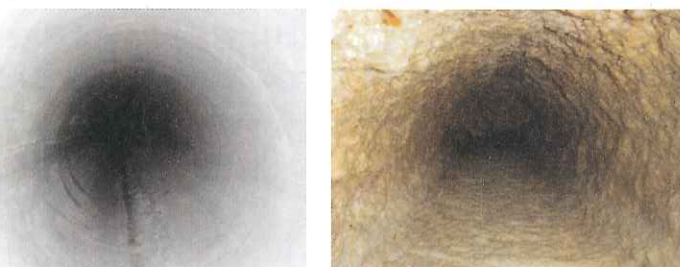
油を多く使用する飲食店等の事業主さん グリストラップの清掃を徹底してください！

飲食店等で使われる油は、下水道管の閉塞や機能を妨げるもっとも大きな要因となっています。

下水道管が詰まると市民のみなさまに大変ご迷惑がかかります。油を下水道へ流さないようお願いします。

油を多く使用する飲食店等の油の処理

- ・排水中の油類が下水道に流入するのを防ぐために、グリストラップの設置が義務付けられています。
- ・グリストラップは定期的な点検・清掃が必要です。回収した油は産業廃棄物として適切に処分してください。
- ・グリストラップの機能を損なう使い方(熱いお湯を大量に流す、油を溶かす薬剤を入れる等)はしないでください。



●問い合わせ先…下水道局維持管理課(電話 321-1290)

9月10日は下水道の日です

下水道の日は、昭和36年に、著しく遅れている下水道の普及を図るため、建設省(現国土交通省)、厚生省(現在は環境省に所管変更)などで「全国下水道促進デー」として制定されました。

9月10日としたのは、立春から数えてほぼ220日の台風シーズンであり、下水道の大きな役割のひとつである「雨水の排除」を念頭に定めたからです。

その後、平成13年に旧下水道法制定100周年を記念して改称され、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

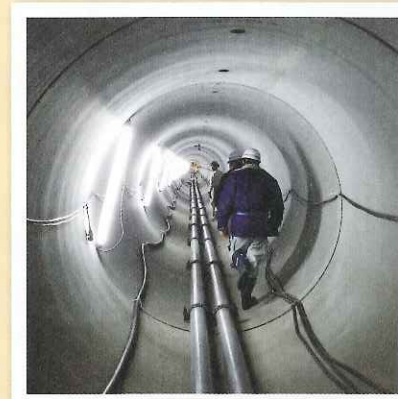
こうして、「下水道の日」は私たちの暮らしを守る下水道を広くアピールする記念日となりました。

雨水幹線の整備

近年集中豪雨などにより、都市型の浸水被害が各所で発生しています。下水道局では、このような災害から街を守るため、雨水幹線の整備を進めています。

写真は下之城町、倉賀野町での雨水幹線を工事している様子で、内径2.4mの管きよを布設しているところです。ここでは表紙で紹介した、セミシールド工法が採用されました。

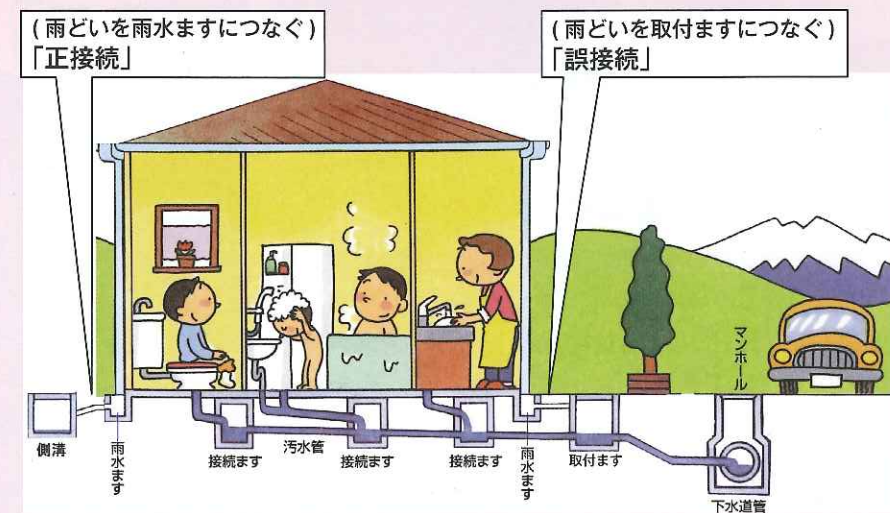
下水道局はこれからも、安全で安心な住環境、そして健全で良好な水循環の形成を目指します。



雨どい(雨水)は下水道管に接続しないで！

高崎市の下水道は高崎駅を中心とした一部の区域を除き、ほとんどが汚水と雨水を別々に流す分流式下水道です。分流式の区域では雨水を污水管に接続することはできません。

自宅の雨どいを点検し、誤った接続が発見された際には、下水道指定工事店に相談して手直し工事を行ってください。



●問い合わせ先…下水道局維持管理課(電話321-1290)